

syoss

oleo cream
オレオ クリーム

ヘアカラー

使用説明書
〈手袋付き〉

●ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。

●ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。

●ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。

●今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

●ヘアカラーやヘアマニキュアなどで染めた髪を、その色より明るく染めかえることは困難です。

使用方法、その他について
ご質問がありましたら、
お客様相談室まで、
お問い合わせください。

お客様相談室

☎03-5783-4271

受付:土・日・祝日を除く
10:00～12:00/13:00～17:00

ヘンケルジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

BZLG

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には右の順番に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマメントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

5. 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。



皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

1. テスト液を作ります。

- (1) 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量をトレーに出します。
- (2) 2剤を、1剤と同量だけトレーに出し綿棒で混合します。

※キャップは1剤と2剤を間違えないように、それぞれ元のチューブにしっかりとめてください。



2. テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。30分位放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。



3. そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。

テスト液を塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。

4. テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として染毛しないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

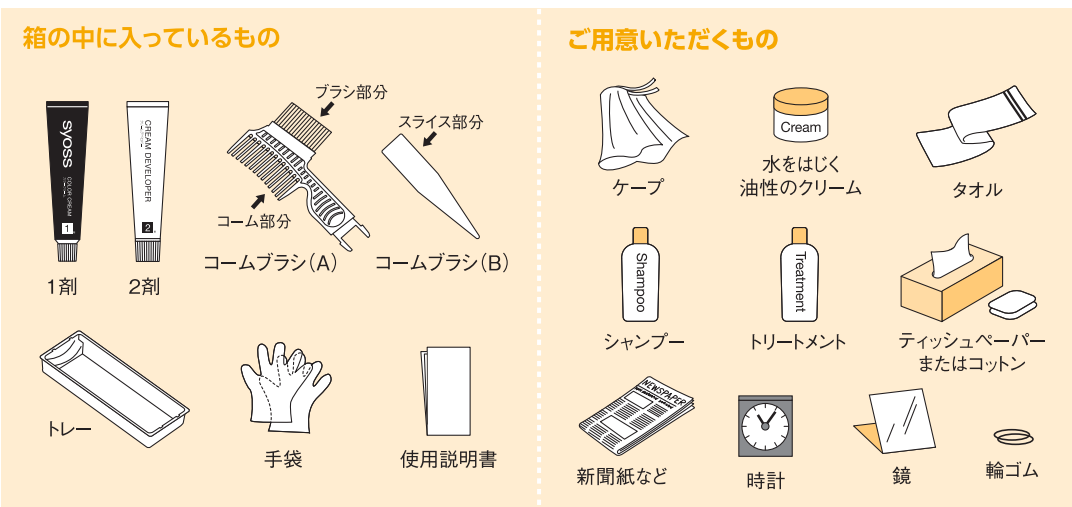
5. 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

ご使用前の準備



髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラスプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料をご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。
- 非酸化染毛剤(マロン マインドカラーなど)で染めた髪には使用しないでください。



身じたく

- ※ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。
- 汚れてもかまわない前あきの衣服に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- 生えざわや耳や首に混合クリームがついて着色するのを防ぐために、油性のクリームなどを塗っておきますと、ついても落としやすく便利です。ただし、油性のクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。
- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくとう操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



準備ができたら裏面へ▶

◀必ず表面をお読み下さい

ご使用方法 • How to use



塗布する順番



- 目のあたりクシで髪をよくとかしてほつれをのぞき、クシ通りをよくしておきます。
- 使用量の目安：ショート～セミロングヘア（髪全体）約1回分
※ 髪の量の多い方は、2箱をご用意ください。

⚠ 染める時のご注意

- ※混合クリームが顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーなどで拭きとってください。時間がたつほど、とれにくくなります。
- ※金属製のヘアピンやクンなどは、熱をもち髪をいためることがありますので、使用しないでください。
- ※混合クリームが目に入らないよう、特に注意してください。
- ※使い残した混合クリームは再使用できませんので、必ず捨ててください。

使い方やセルフカラーリングに関する情報はウェブサイトでもチェックできます。

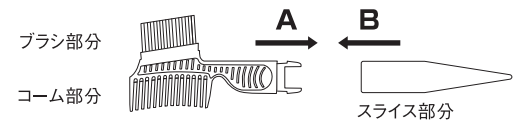
<https://syoss-selfcoloring.jp/>



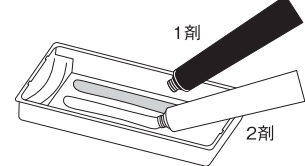
1 使用直前に混合クリームをつくります。

1 コームブラシを用意します。

A、Bをしっかり差し込みセットします。



2 1剤と2剤を、添付のトレーの中に必要なだけ、同じ量をしぼり出します。



3 コームブラシのブラシ部分でよく混合します。

できあがった混合クリームは、すぐに髪に塗ってください。



POINT

染めムラを防ぎ、キレイに仕上げるために、混合クリームはたっぷりとご準備ください。

⚠ ご注意

- ※混合クリームをつくったらすぐに塗り始め、途中で中断しないでください。
- ※混合後すぐに、キャップは1剤と2剤を間違えないように、それぞれ元のチューブにしっかりとめてください。

クリームの色について

- 1剤の色は色番によって異なります。また部分的に茶色や黒色になっていることがありますが、仕上がりに影響ありません。
- 混合クリームの色は徐々に変わり、仕上がりの色とは異なります。紫色や褐色等にも変わっても、仕上がりに影響ありません。

2 混合クリームを髪に塗ります。

※混合クリームはなるべく10～15分を目安に塗り終えてください。時間が経つと徐々に染毛効果がなくなります。

髪全体を染める場合

1 上部の〈塗布する順番〉を参考に、白髪が目立つ部分の根元から塗っていきます。



① 顔まわり（生え際）

白髪の気になる根元部分にブラシを寝かせて混合クリームを置くように塗りましょう。



② トップ

コームブラシのスライス（とがった）部分で髪を分け取りながら少しずつ塗ります。



③ サイド

耳に近い下側から塗っていきます。先に利き手の反対側を塗ると、腕の汚れが防げます。



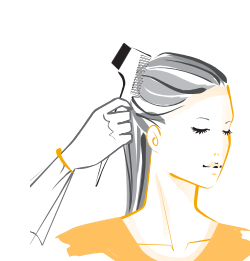
④ 耳のうしろ

耳のうしろやえり足は、髪を持ち上げてしっかり塗りましょう。



⑤ 後頭部

髪を前にもっていきながら、えり足の上まで塗っていきます。塗り残しに注意しましょう。



コームブラシのコーム部分で均一になるように髪全体によくのばしてください。



3 20分間放置します。



※白髪の多い方、髪の太い方は、放置時間を5～10分長めにするとしっかり染まります。

新しく伸びてきた部分を染める場合（リタッチ）

1 髪に塗ります。

上部の〈塗布する順番〉を参考に、混合クリームをブラシにとり、新しく伸びてきた髪の根元のみに塗ります。ブラシを寝かせて混合クリームを置くように塗りましょう。



2 15分間放置します。



3 髪全体になじませます。

根元につけた混合クリームを、コームブラシのコームの部分で毛先に向かってのばし、なじませます。



4 さらに10分間放置します。



3 洗い流し、よく乾かします。



放置時間がすぎたら、ぬるま湯で十分にすすぎ、シャンプーをした後、トリートメントで仕上げます。
※汚れてもかまわないタオルで拭いてください。

⚠ 洗髪・乾かす時のご注意

- ※シャンプーはいつもより丁寧に2回行ってください。
- ※洗髪時の洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
- ※目に入ったときは、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科医の診療をうけてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。
- ※すすぎ湯が壁や浴槽などにつくと汚れる場合がありますので、最後に軽く流してください。
- ※髪は充分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。

⚠ 使用後のご注意

- ※皮膚に染着した場合、メイク落とし等を着色した部分につけて、軽くマッサージをしてなじませてください。次に、石鹸や洗顔料などで洗い流してください。強くすると炎症や傷の原因になることがありますので充分ご注意ください。
- ※次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
- ・髪がぬれている時。（運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など）
- ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髮用品を多量に使用したとき。
- ※再度ブリーチやヘアカラー（ヘアマニキュアを除く）を使用される場合は、髪や頭皮への負担を考え1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。

分割して使用される場合

- ※コームブラシ、トレー、手袋をぬるま湯でよく洗って保管してください。
- ※2回目からも染毛の前には必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。
- ※2回目以降の使用の際、1剤の先端が黒くなっていることがありますが、染毛効果には影響ありません。

次回染める時の色選びのポイント

仕上がりが明るすぎと感じた方

今回は1つ暗めの色番をご使用ください。

仕上がりが暗すぎと感じた方

一度暗くなってしまうと一度で明るくするのは困難です。次回から、1つ明るめの番号を使用し、徐々に明るくしていきます。

POINT

- ※白髪の多い方は、仕上がりがイメージより明るめ。少なめの方は、暗めに仕上がります。
- ※仕上がりは、もとの髪色、白髪の量、髪質、室内温度、放置時間等によって異なります。